

令和7年10月3日(金)の午後7時00分より、岩公民館において第3回通学路安全対策ワークショップを開催しました。参加者は、第2回に引き続き岩っ子みまもりたい、交通安全協会、PTA、岩子ども会育成会などの方々です。

## テーブルでの話し合い

通学路の人数や客観的データなどの指標により、参加者の皆さまの意見を加えて、優先順位を決めていただきました。さらに優先順位を会場全体で共有し、参加者の皆さまの合意を形成しました。



## 発表の様子

通学路安全対策ワークショップにご  
参加いただきありがとうございました。  
見守り活動や取締り強化など地域や関  
係機関の協力を得ながらソフト・ハー  
ド両面で令和 8 年度より順次対策を進  
めていきます。

岐阜市基盤整備部道路建設課

☎(058)214-2191

# 通学路安全対策 ワークショップ

第3回  
ワーク  
ショップを  
開催(10/3)

Vol. 2



## 通学路の 安全対策が決定!

## 校区

# ワークショップで合意した通学路安全対策（岩校区）



※現場の状況により変更となる場合があります

| 優先順位 | 箇所  | 危険要因   | 安全対策                                |
|------|-----|--|-------------------------------------|
| 1    | A11 | 国道の抜け道となっており、スピードを出す車が多い                                   | ラバーポール設置・取締り                        |
|      | B4  | 交通量が多く、スピードを出す車が多い<br>山麓の木が倒れそう<br>通学路標識の位置が高く、見えづらい       | 路肩カラー舗装・通学路標識の位置調整・樹木伐採の指導          |
|      | C1  | 通勤時の交通量が多く、スピードも速い<br>道幅が狭いため見通しが悪く、横断歩道がないこともあり、子どもの横断が危険 | カラー舗装・路面標示・注意喚起看板の設置                |
| 2    | A5  | カーブミラーはあるが、見通しが悪く、東から来る歩行者が見えづらい                           | 注意喚起看板の設置・カーブミラーの角度調整               |
|      | A7  | 交差点の見通しが悪く、東側から来る歩行者や自転車が見えづらい                             | カーブミラー設置                            |
|      | B6  | 見通しが悪い   | カーブミラー設置                            |
|      | C2  | 交差点の見通しが悪く、道幅が狭い<br>北から東へ進む自転車の高校生と衝突する危険がある               | カーブミラー設置・交差点カラー舗装                   |
| 3    | A4  | 道幅が狭く、歩道と車道の区別がない場所がある<br>交通量が多い                           | 路面標示                                |
|      | B1  | 道が狭い   | 道路拡幅（擁壁）                            |
|      | B2  | 停止線を越えて一時停止をする車が多い<br>自転車が交差点横断時、止まらない                     | カラー舗装・注意喚起看板の設置・カーブミラー設置・カーブミラー角度調整 |
|      | C7  | 東側の道路が上り坂になっていて交差点の見通しが悪く、学校から来る子どもが見えない                   | カーブミラー設置・路面標示                       |

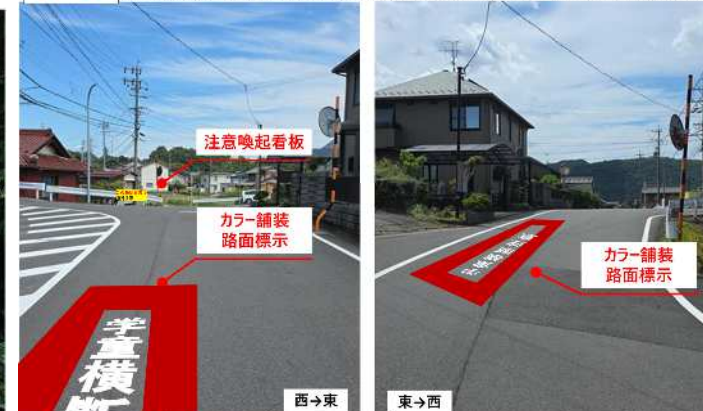
**A11** ・国道の抜け道となっておりスピードを出す車が多い



**B4** ・交通量が多く、スピードを出す車が多い ・山麓の木が倒れそう  
・通学路標識の位置が高く、見えにくい



**C1** ・通勤時の交通量が多く、スピードも速い  
・道幅が狭いため、見通しが悪く、横断歩道がないこともあり、子どもの横断が危険



## 対策工事のスケジュール

▷ 合意形成された対策工事は、関係機関との調整が必要なものなどもありますので、前後することもあります。来年度より優先順位の高いものから順番に3年程度かけて実施します。

## 今後のフォローアップ

▷ 工事の進捗状況などの情報をつかわ版として取りまとめ、年度ごとに地域回覧し、校区全体で共有します。

## 危険箇所を小学生へ共有

▷ 市内全小中学校で導入されているタブレット端末用の教育ICTツール、ロイロノートによりワークショップの活動内容と、話し合われた危険箇所について、資料を作成し、学校に提供し、安全教育に役立てていただきます。



安全教育的様子  
(イメージ)